

1. 科目名 (単位数)	精神保健福祉実習指導 I (2 単位)		3. 科目番号	PSMP2483
2. 授業担当教員	森田 和美/山口 大輔			
4. 授業形態	講義、演習、討論	5. 開講学期	春期	
6. 履修条件・他科目との関係				
7. 講義概要	<p>精神保健福祉実習指導 I は、実習指導 I、II、III と精神保健福祉実習を軸として継続的に展開するように構成されている。これらの授業の主な学習方法は、資料による情報収集、文献調査、グループ討議、ロールプレイ等多様な方法を用いて、社会福祉実践に必要な知識と技能の具体的な学習、また実習前・中・後指導を通じて、理論と実践との統合を図ることを目的としている。</p> <p>精神保健福祉実習指導 I では、専門職養成における実習の意義、法的な位置づけ、どのように実習が展開されるのかという基本的学習を中心として、次年度に行う実習に必要な知識を学習する。</p>			
8. 学習目標	<p>精神保健福祉実習指導 I が終了した時点で、下記の目標を達成することが期待される。</p> <p>①精神保健福祉士実習の意義について理解する。</p> <p>②精神疾患や精神障害のある人のおかれている現状を理解し、その生活の実態や生活上の困難について理解する。</p> <p>③実習施設・機関の概要について明瞭な説明ができる。</p> <p>④資格取得に対する動機を明瞭に説明できる。</p> <p>⑤個人のプライバシーの保護と守秘義務について理解する。</p>			
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<p>課題 1: 資格取得に対する自身の動機についてまとめる。</p> <p>課題 2: 実習配属施設・機関に関して、その関連法令、規定されたサービス内容等施設・機関の概要についてまとめる。</p>			
10. 教科書・参考書・教材	<p><b>【教科書】</b> 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『ソーシャルワーク実習指導・実習 (精神保健福祉専門)』中央法規出版</p> <p>東京福祉大学『精神保健福祉実習の手引き』 ※講義にて配布 東京福祉大学『社会福祉士・精神保健福祉士実習 学習の手引き』 ※講義にて配布</p> <p><b>【参考書】</b> 精神保健医療福祉白書編集委員会編集『精神保健医療福祉白書』中央法規出版</p>			
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <p>①精神保健福祉士実習の意義について理解できているか。</p> <p>②精神疾患や精神障害のある人のおかれている現状を理解し、その生活の実態や生活上の困難について理解できているか。</p> <p>③実習施設・機関の概要について明瞭な説明ができるか。</p> <p>④資格取得に対する動機を明瞭に説明できるか。</p> <p>⑤個人のプライバシーの保護と守秘義務について理解できているか。</p> <p>○評定の方法</p> <p>1. 授業中に課されるレポート 40%</p> <p>2. 実習配属に伴う提出物 20%</p> <p>3. 授業への積極的参加態度 40%</p>			
12. 受講生へのメッセージ	<p>本科目では、学生個人の思考力、創造力、問題解決能力を養成し、より実践的な技術、知識を得ることを目的としている。目的達成のため、受講生は以下の条件を守ること。</p> <p>1. 授業中は、常に高い緊張感と、集中力を保って受講すること。学生には積極的な態度を望む。</p> <p>2. 自ら進んで教員に質問すること。理解できないことをそのまま放っておかないこと。</p> <p>3. 欠席、遅刻、早退をしないこと。欠席、遅刻、早退をした場合はその理由を必ず教員に書面をもって報告すること。</p> <p>4. 明らかに授業態度が悪いと判断された際は、厳格な指導を行う。指導後も授業態度の改善が見られない場合、たとえ皆出席であっても F 評価になるので注意すること。</p> <p>5. 授業中、私語、居眠り、携帯電話等の操作は絶対にしないこと。</p> <p>教員は以下のことを実行する。</p> <p>1. 授業の目的、目標を明確にし、授業の進行はシラバスに沿って行う。</p> <p>2. 受講生全体に聞こえる大きさの声で話しをするとともに専門用語はわかりやすく説明する。</p> <p>3. 一方通行の講義だけを行うのではなく、ディスカッションを行いながら、学生が積極的に授業に参加 (発言、発表等) できるよう双方向対話型の学習環境を作る。</p> <p>遅刻、早退、授業中の居眠り、私語、携帯電話の使用等、授業に臨むうえで不適切な態度が見受けられた場合は、厳格に対処する。</p>			
13. オフィスアワー				
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第 1 回	<ul style="list-style-type: none"> <li>精神保健福祉実習指導 I のねらい、授業の進め方についての説明</li> <li>実習の流れの理解と実習に関する基本的ルールの確認 (「実習の手引き使用」)</li> </ul>	事前学習	精神保健福祉実習指導 I の教科書を購入する	
		事後学習	精神保健福祉実習指導 I のねらいについてまとめる。 実習の手引きの実習の流れを再確認する	

第2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門職養成における実習の意義を理解する</li> <li>：精神保健福祉士を目指すうえで、実習がなぜ大切なのか、また実習で何を学ぶべきなのか理解を深める。</li> <li>・実習記録の書き方とその意義を理解する</li> <li>：以後授業の中で実習記録の練習を行う</li> </ul>	事前学習	テキスト第1章「精神保健福祉実習の意義と特徴」・第2章「実習の学習内容と基本的な枯れ」を熟読する
		事後学習	授業で学んだことを受け、自己にとっての実習に行く意義についてまとめる
第3回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神保健福祉士を目指している自己の動機に対する理解を深める</li> <li>：実習の意義と同時に、個人が持っている資格取得に対する動機を自己の中で明確にするとともに、他人に対して説明できるようにする</li> </ul>	事前学習	自分の資格取得動機を説明できるように準備する
		事後学習	授業を受け再度自己の資格取得動機について考える。自己の実習の動機をまとめる
第4回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前学習の意義について理解する</li> <li>：事前学習で学ぶべきことを把握するとともに、その意義を理解する</li> </ul> <p>精神保健福祉に関する基礎知識の確認①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・精神障害者のおかれている現状を理解し、その生活の実態や生活上の困難について理解する</li> <li>：日本の精神保健福祉の歴史、精神保健福祉の現状、精神障害者が抱える困難性について考える</li> </ul>	事前学習	テキスト第3章Ⅲ（pp.46～65）を熟読する 精神保健福祉の歴史、精神科医療の現状についてレポートにまとめる
		事後学習	精神障害者のおかれている現状について考えたことをまとめる
第5回	<p>精神保健福祉に関する基礎知識の確認②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・精神疾患の理解</li> <li>：主な精神疾患についての基礎知識を確認する</li> </ul> <p>精神保健福祉に関する基礎知識の確認③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・精神保健福祉に関する制度の理解</li> <li>：精神保健福祉士として必要となる制度についての知識を確認する</li> </ul>	事前学習	与えられたテーマについてレポートにまとめる
		事後学習	授業を受けてレポートに足りなかった点をまとめる
第6回	<p>精神保健福祉に関する基礎知識の確認④</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・精神科医療機関における制度、ワーカーの役割を確認する</li> <li>：入院制度の確認</li> <li>：保険制度の確認</li> <li>：精神科医療機関におけるワーカーの役割</li> </ul>	事前学習	与えられたテーマについてレポートにまとめる
		事後学習	授業を受けてレポートに足りなかった点をまとめる
第7回	<p>精神保健福祉に関する基礎知識の確認⑤</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・精神保健福祉に関する技術の理解</li> <li>：面接の基本姿勢、面接技術などソーシャルワーカーとして必要になる基礎的技術について</li> </ul> <p>確認精神保健福祉に関する基礎知識の確認⑥</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・精神保健福祉に関する職業倫理と法的責務の確認</li> <li>：精神保健福祉士法、倫理綱領について、実習に結びつけて理解</li> </ul>	事前学習	与えられたテーマについてレポートにまとめる
		事後学習	授業を受けてレポートに足りなかった点をまとめる
第8回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習先を理解する</li> <li>：実習が可能な施設・機関の紹介と説明（「実習の手引き」使用）</li> <li>：事前学習として実習先を理解する意義と、どのような点について理解することが必要か説明</li> <li>※第8回～第11回において、可能な場合は、外部機関の見学を実施し、実習先理解を深める</li> </ul>	事前学習	テキスト第8章「実習施設・機関の概要」を熟読する
		事後学習	実習可能な施設について確認する
第9回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習施設・機関の基本的理解</li> <li>：グループによる発表 医療機関 〈精神科病院／総合病院精神科／精神科診療所／精神科デイケア施設／アルコール専門病棟／認知症病棟〉</li> </ul>	事前学習	グループで発表の準備をする テキスト第9章Ⅰ「精神科病院」、Ⅱ「精神科診療所」、Ⅳ「精神保健医療福祉における多職種連携とチームアプローチの実際」を熟読する
		事後学習	発表の内容をまとめる
第10回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習施設・機関の基本的理解</li> <li>：グループによる発表 障害者総合支援法に規定されている施設 〈共同生活援助／相談支援事業・地域活動支援センター／就労継続支援A型／就労継続支援B型／就労移行支援事業所〉</li> <li>・実習コンピテンス確認テストⅠの問題配布</li> <li>：実習コンピテンスの意義を理解し、自主学習の準備を整える</li> </ul>	事前学習	グループで発表の準備をする テキスト第9章Ⅲ「障害福祉サービス事業所」Ⅶ「地域社会の中の実習施設・機関とアウトリーチ、地域ネットワーク、社会資源の活用・調整・開発を熟読する
		事後学習	発表の内容をまとめる
第11回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習施設・機関の基本的理解</li> <li>：グループによる発表 行政 〈精神保健福祉センター／保健所／市町村保健センター〉</li> <li>：実習施設・機関の理解に対するまとめ</li> <li>・実習コンピテンス確認テストⅠの実施</li> </ul>	事前学習	グループで発表の準備をする 実習コンピテンス確認テストⅠの準備をする
		事後学習	発表の内容をまとめる
第12回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神疾患に関する理解</li> <li>：代表的な精神疾患について基礎的な知識の確認</li> </ul>	事前学習	精神医学のテキスト及び講義内容を振り返り、代表的な精神疾患についてまとめる
		事後学習	授業で学んだことをまとめる

第13回	・実習において必要となる姿勢の理解(1) -社会人、専門職として求められる姿勢を身に着ける	事前学習	社会人として求められる姿勢について考えられることをまとめる
		事後学習	授業で学んだことをまとめ、日常生活で実践する
第14回	・実習において必要となる姿勢の理解(2) -社会人、専門職として求められるコミュニケーション技術を身に着ける	事前学習	社会人として求められるコミュニケーションについて考えられることをまとめる
		事後学習	授業で学んだことをまとめ、日常生活で実践する
第15回	・学習のまとめ ・精神保健福祉実習指導Ⅱに向けた課題 ・セルフアセスメントの実施	事前学習	実習施設の概要を作成する
		事後学習	精神保健福祉実習指導Ⅰで学んだことを振り返る

備考：実習に関する主な事項と授業回数との関連

実習関連／実習コンピテンス関連事項	時期	授業回数との関連*おおよその目安，変動あり。
実習コンピテンス確認テストⅠの問題配布(自主学習用)	7月下旬	夏休み前の授業で問題配布(第10回～第11回)
実習コンピテンス確認テストⅠの実施	8月下旬	夏休み明け最初の授業で確認テストⅠの実施(第11回～第12回)